

**校正器**  
**(724 及び 725 用)**

**MODEL: 770065 取扱説明書**

文書番号 TBJ-9083

**DESCO ASIA**

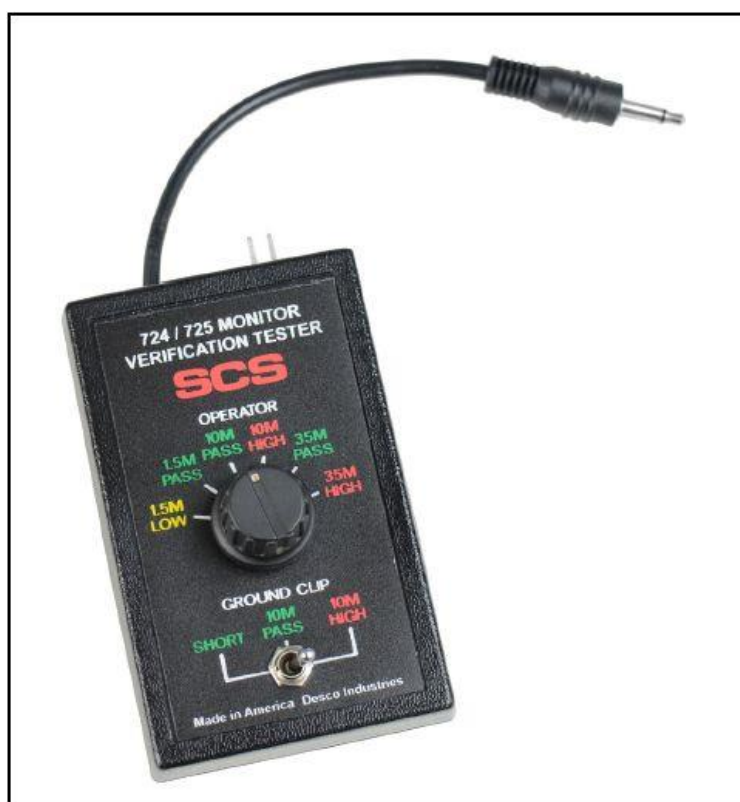
DESCO JAPAN 株式会社

## <はじめに>

この度は、校正器をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本製品は、[724](#) ワークステーションモニターおよび [770724](#) 724 Plus ワークステーションモニター、[725](#) リストストラップモニターのテスト制限を定期的に検証する装置です。作業場からモニターを運び出すことなくその場で検証することが可能で、アメリカ国立標準技術研究所 (NIST) により認証された校正方法で校正できます。校正の頻度は、取り扱うESDに敏感な製品の危険な性質に基づきます。弊社では、ワークステーションモニター及び校正器を1年に1度校正することをお勧めいたします。[770065](#) 校正器は ANSI/ESD S20.20 及び適合性検証 ESD TR53 に準拠しています。

本製品は下記製品にご利用いただけます。

品番	概要
<a href="#">724</a>	ワークステーションモニター
<a href="#">724MO</a>	ワークステーションモニター、AC アダプターなし
<a href="#">725</a>	リストストラップモニター
<a href="#">770724</a>	724 Plus ワークステーションモニター



## ご注意

- (1)本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ等お気づきの事がありましたら、ご連絡下さい。

## <梱包内容>

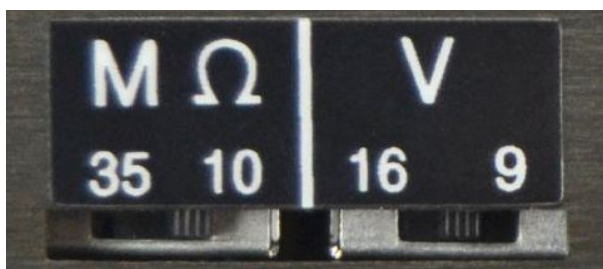
本体	1 個
校正証明書	1 部

## <操作方法>

### 724 ワークステーションモニター

724 ワークステーションモニターの右側にあるスイッチを使って作業者テスト制限の上限とテスト電圧を設定します。テスト制限は 10M $\Omega$  か 35M $\Omega$ 、テスト電圧は 9V か 16V に設定できます。下記記載の操作方法に進む前に必ずテスト制限の設定を行ってください。テスト電圧はいつでも設定可能です。

校正器の“GROUND CLIP”切替スイッチは 724 ワークステーションモニターでは使用しません。どこに設定してあっても大丈夫です。



1. 校正器のステレオプラグをモニターのオペレーターリモートジャック#1に差し込みます。
2. 回転式スイッチを「1.5M LOW」に合わせます。モニターの緑“OK 1”LED が点灯し黄“L”LED が点滅します。アラーム音は鳴りません。
3. 回転式スイッチを「1.5M PASS」に合わせます。モニターの緑“OK 1”LED が点灯し、アラーム音は鳴りません。
4. 回転式スイッチを「10M PASS」もしくは「35M PASS」のいずれか設定中の方に合わせます。モニターの緑“OK 1”LED が点灯し、アラーム音は鳴りません。
5. 回転式スイッチを「10M HIGH」もしくは「35M HIGH」のいずれか設定中の方に合わせます。モニターの赤“H”LED が点灯し、アラーム音が鳴り続けます。
6. 1～5 の手順をリモートジャック#2 でも行います。ジャック#2 での“HIGH”不合格時は高音のアラーム音が鳴ります。



## マット回路のテスト

### 必要な物

- ・ 十進抵抗器 (1M $\Omega$  ~ 5M $\Omega$ 、公差 $\pm$ 1%)
- ・ 十進抵抗器用テストリード 2本
- ・ ワニクリップ 1個

1. 2本のテストリードを十進抵抗器に接続します。
2. 1本のテストリードをモニターに接地接続します。
3. 724 ワークステーションモニターのマットモニターコードを作業台表面マットから取り外します。マット LED が赤色に点灯し、アラーム音が鳴るはずですが。
4. ワニクリップを使って、十進抵抗器に接続された2本目のテストリードをマットモニターコードの金属スナップに接続します。
5. 下記表を参考にして十進抵抗器を設定してください。ワークステーションモニターのマット LED およびアラームは表の通りに反応するはずですが。

負荷抵抗	マット LED	アラーム音
3.1M $\Omega$	OFF	OFF
4.3M $\Omega$	ON	ON

### 725 リストストラップモニター

1. 校正器の“GROUND CLIP”切替スイッチを「SHORT」に合わせます。
2. モニターの接地クリップを校正器上部のピンに接続します。接地クリップの各導線が1つのピンだけに接触するようにしてください。
3. 校正器のステレオプラグをモニターのオペレータージャックに差し込みます。
4. 回転式スイッチを「35M PASS」に合わせます。モニターの LED は点灯せず、警報アラームは鳴りません。
5. 回転式スイッチを「35M HIGH」に合わせます。モニターの LED が点滅し、警報アラームが鳴ります。
6. 回転式スイッチを「35M PASS」に合わせ、校正器の“GROUND CLIP”トグルスイッチを「10M PASS」に合わせます。モニターの LED は点灯せず、警報アラームは鳴りません。
7. 校正器の“GROUND CLIP”切替スイッチを「10M HIGH」に合わせます。モニターの LED が点灯し、警報アラームが鳴り続けます。



### 作業者回路のテスト

724 Plus ワークステーションモニターの背面にある設定スイッチを使って作業者用テスト上限を 10M $\Omega$ もしくは 35M $\Omega$ に設定することができます。下記手順を実行する前に、テスト制限設定に注意してください。

校正器の“GROUND CLIP”切替スイッチは、724 Plus ワークステーションモニターの検証には使用しませんのでどの位置にあっても構いません。

1. 校正器のステレオプラグをリモートの作業者 1 用ジャックに差し込みます。
2. 回転式スイッチを「1.5M LOW」に合わせます。モニターの“OPERATOR1”LED が黄色に点滅し、アラーム音が鳴ります。
3. 回転式スイッチを「1.5M PASS」に合わせます。モニターの“OPERATOR1”LED が緑色に点灯し、アラーム音は鳴りません。
4. 回転式スイッチを「10M PASS」もしくは「35M PASS」のいずれか設定中の方に合わせます。モニターの“OPERATOR1”LED が緑色に点灯し、アラーム音は鳴りません。
5. 回転式スイッチを「10M HIGH」もしくは「35M HIGH」のいずれか設定中の方に合わせます。モニターの“OPERATOR1”LED が赤色に点灯し、アラーム音が鳴ります。
6. 1～5 の手順を作業者 2 用ジャックでも行います。

### マット回路のテスト

#### 必要な物

- ・ 十進抵抗器 (1M $\Omega$  ~ 5M $\Omega$ 、公差 $\pm$ 1%)
- ・ 十進抵抗器用テストリード 2本
- ・ ワニクリップ 1個

1. 2本のテストリードを十進抵抗器に接続します。
2. 1本のテストリードをモニターに接地接続します。
3. 724 Plus ワークステーションモニターのマットモニターコードを作業台表面マットから取り外します。マット LED が赤色に点灯し、アラーム音が鳴るはずですが。
4. ワニクリップを使って、十進抵抗器に接続された2本目のテストリードをマットモニターコードの金属スナップに接続します。
5. 下記表を参考にして十進抵抗器を設定してください。ワークステーションモニターのマット LED およびアラームは表の通りに反応するはずですが。

負荷抵抗	マット LED	アラーム音
3.1M $\Omega$	緑	OFF
4.3M $\Omega$	赤	ON

## <仕様>

使用温度	10～35℃
環境要件	標高 2000m 未満の屋内のみ 相対湿度 50% (30℃) ～80% (30℃)
寸法	97 mm × 61 mm × 23 mm
重量	0.1 kg
原産国	アメリカ

### オペレーター抵抗値

設定	通常抵抗	通常抵抗の公差
1.5M LOW	1.33M Ω	±2%
1.5M PASS	1.69M Ω	±2%
10M PASS	8.45M Ω	±2%
10M HIGH	11.5M Ω	±2%
35M PASS	29.4M Ω	±2%
35M HIGH	40.2M Ω	±2%

### GROUND CLIP 抵抗値

設定	通常抵抗	通常抵抗の公差
SHORT	1 Ω 未満	±2%
10M PASS	4.99M Ω	±2%
10M HIGH	11.5M Ω	±2%

これらの抵抗値はデジタルオームメーターを使って確かめることができます。オームメーターのテストリードを校正器のステレオプラグと交わるようにして接続します。もしいずれかの値が仕様範囲内から出た場合は、校正器を修理に出してください。

### 限定保証

弊社の保証規定に関する詳細は

<http://www.descoasia.co.jp/Limited-Warranty.aspx>

をご覧ください。

## 保証規定

本製品は、米国 DESCO Industries Inc. 社により製造され、日本国内の販売、保守、サービスは、DESCO JAPAN 株式会社が担当するものです。

本製品が万一故障した場合は、製品購入後一年以内については無料で修理調整を行います。ただし、以下の項目に該当する場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。

- (1) 取扱説明書以外の誤操作、悪用、不注意によって生じた故障。
- (2) 当社以外で行われた修理、改造等による故障。
- (3) 火災、天災、地変等による故障。
- (4) 使用環境、メンテナンスの不備による故障。

保証の対象となるのは、本体で付属品、部品等の消耗は、保証の対象とはなりません。

- \* 本保証は、上記保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- \* 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

機器に明らかなる不良がある場合については、下記内容を当社にご連絡下さい。

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 1) 機種名または、品番       | 4) ご購入年月日       |
| 2) 製品シリアルナンバー      | 5) 御社名、部署名、担当者名 |
| 3) 不良内容(できるだけ具体的に) | 6) 連絡先          |

以上の内容を検討致し返却取扱ナンバーを御社に連絡致します。製品を返却する場合は、返却取扱ナンバーを製品に添付してご返却下さい。

返却ナンバーが表示されていない場合は、保証の対象とならない場合があります。

# DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

〒289-1143

千葉県八街市八街い 193-12

Tel: 043-309-4470

<http://www.descoasia.co.jp/>